

対話集会「新未来セッションNEO」意見への対応内容

資料6

番号	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	若者のとくしま回帰 【一度県外に出て、徳島に戻ってきたい人の意見】	若者は一度県外へ出るように促すべきではないか。他の県のことを知れば、徳島の良いところも悪いところも分かると思う。	<p>本県では、ふるさとを離れて多様にチャレンジする若者を対象に、様々な「とくしま回帰」事業を展開しています。具体的には、徳島・東京間をつなぐフェリーや、JR四国の列車内を活用して、「トークセッション」や「徳島を考えるチーム別検討会」を行う「洋上・トレインセミナー」の開催、また、「若者応援サイト・AWAIRO」を開設し、「とくしま若者回帰アンバサダー」として委嘱された若者自身が、若者の興味を引く情報や共感を呼ぶコンテンツを作成・配信するなど、一度徳島を離れた若者が、ふるさとを見つめ直す機会の創出に取り組んでいます。</p> <p>今回の「改善見直し」においては、新たな総合戦略に盛り込む「若者」、「女性目線」、「大阪圏」を意識した多様な移住交流施策を新たに取り入れることとしており、今後とも若者の「とくしま回帰」を促進できるよう取り組んで参ります。</p>	政策
2	若者のとくしま回帰 【県外に出たい、その後は決めていない人の意見】	働く場が少ないから、県外に出たい。県内には大きな企業が数えるほどしかない。	<p>本県では、雇用機会の確保を図るため、全国屈指の光ブロードバンド環境や立地優遇制度を活かし、大都市圏等から、成長分野関連企業、情報通信関連産業、サテライトオフィス等の誘致や本社機能移転を推進してきたところです。</p> <p>また、平成30年度より「地方大学・地域産業創生交付金（5カ年・50億円）」の採択を受け、次世代LED（深紫外光・近赤外光・赤外光コム・テラヘルツ）等を活用した新製品開発により、県内の光関連産業の活性化を図り、若者に魅力ある「就学・就業機会」の創出に取り組んでいるところであり、今後4年間で13,500人の雇用創出を図ることとしております。さらに、今回の改善見直しでは、県内企業の5G活用促進や技術支援、また5G技術人材育成に係る取組みを進めることとしており、こうした新たな取組みも展開することで、今後とも、徳島ならではの強みを活かし、本社機能移転や産業の活性化等を図り、若者に魅力ある「しごと」づくりを推進して参ります。</p>	政策 商工
3	徳島の持つ「ひとを惹きつける」もの	阿波踊りをもっと推すべき。夏しかない特別感を感じてほしい。	<p>本県では、阿波おどりの魅力を多くの観光客の皆様にご体感していただくため、無料演舞場の運営支援やシャトルバスの運行支援のほか、観光案内所の運営支援を行ってきたところです。また、今回の改善見直しでは、今年度開催した「世界阿波おどりサミット」の開催を契機として、世界の阿波おどり連との連携強化を図り、世界にその魅力を発信していくこととしています。引き続き、徳島の誇る本場の阿波おどりを効果的に情報発信を行い、国内外から本県への誘客を図って参ります。</p>	商工

番号	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
4	徳島の持つ「ひとを惹きつける」もの	都会(東京)に比べて出会いは少ないが、少ないからこそきずなが深い地域性があると思うので、移住・交流施策に活かさないか。	徳島県では、県外移住者が新天地で不安なく暮らせるよう「移住者交流会」を開催し、移住者と地域住民、支援団体等が交流できる機会の確保や、「とくしまで住み隊」会員に向け、協定を締結した県内約100企業が、宿泊やレンタカーの割引等、多様な移住者向けサービスを提供する「とくしま移住サポート企業」制度等を設けるなど、様々な取組を行ってきたところです。今後においても、お遍路で育まれてきた「お接待」「おもてなし」気質を活かし、県外の移住希望者と地域住民との間に新たな絆を生み出す多様な移住交流施策に取り組んで参ります。	政策
5	徳島が「ひとを惹きつける」ための提案	徳島の豊かな自然をまだ生かしきれていないと思う。もっとイベント等に活用すべき。	県では、昨年8月11日「山の日」に、本県の豊かな自然環境の象徴である「剣山」の山頂にて「阿波おどり」演舞などを行う「山の日」イベントを開催するとともに、9月から11月にかけて、レジャー等の需要が高まる秋の観光シーズンに合わせた「#徳島あるでないで秋の観光キャンペーン」を実施し、紅葉が見頃の登山・キャンプ情報や、旬を迎える味覚狩りなど、豊かな自然を活かした観光コンテンツのPRを行ったところです。 今後とも、本県が誇る自然を活かした観光誘客につなげるため、各種イベントやWEB、SNSを活用し、情報発信の強化に取り組んで参ります。	商工
6	徳島が「ひとを惹きつける」ための提案	同じものでも、他県に負けない魅力を伝えるなど、発信力を強めるべき。	県では、ホームページ、SNS、動画など各種媒体を通じて情報発信をしてきたところです。さらに、5Gという新たな潮流を先取りできるよう、VR動画を活用した広報を国内外に積極的に展開し、徳島県の魅力・注目度アップをしっかりと図って参ります。	経営
7	徳島が「ひとを惹きつける」ための提案	地域の人々が主体的に町おこしを行い、地域イベントをPRしていったらどうか。	これまでも、葉っぱビジネス「いろどり」に代表される地域資源を活用した事業や、地域おこし協力隊による新たなアイデアを活かした取組みなど、様々な形で地域の方々が主体となった「町おこし」が展開され、地域の活性化が図られているところです。今後とも、こうした活動をいっそう積極的に発信することで、徳島の魅力を多くの方に知っていただき、地方創生の実現を目指して参ります。	政策

番号	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
8	徳島が「ひとを惹きつける」ための提案	渦潮や祖谷などの魅力的な観光地があるのに、交通の便が不便	<p>地域公共交通を取り巻く環境は、利用者の減少や運転手不足などにより、厳しい状況にあります。</p> <p>県においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JR四国初」となる牟岐線への「パターンダイヤ」の導入 ・「DMV(デュアル・モード・ビークル)」の「世界初」となる本格営業運行に向けた整備 ・訪日外国人路線バスフリー乗車券の発行 ・路線バスの多言語表記への支援 <p>などにより、地域住民にとっては「生活交通」、観光客にとっては「二次交通」となる地域公共交通の維持・充実に取り組んでおります。</p> <p>また、徳島を訪れた方に快適に観光を楽しんで頂くため、県内の観光知識等を学んだタクシー運転手を「おもてなしタクシー」として認定しています。「おもてなしタクシー」の利用を促進することにより、二次交通の充実及び県内の周遊観光の促進を図って参ります。</p> <p>加えて、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」をはじめとする県内各観光地へのアクセスルートとなる道路整備にも取り組んでいるところであり、今後とも、駅等交通結節点の環境整備や、運行ダイヤの「オープンデータ化」の推進、アクセスルートの整備などにより、インバウンド客をはじめとする観光客が快適に県内を移動できるよう取り組んで参ります。</p>	商工 県土
9	若者が求める“徳島の情報”の発信【発信ツール・情報コンテンツ】	Instagram、Twitter、Youtube、Tiktok、テレビCMなどを使った情報発信を行ってほしい。また、下記の情報を発信してはどうか。	<p>県では各種SNSを活用した情報発信を実施しており、フォロワー数も平成26年度末と比べて、約6倍増となり、順調に伸びています。今後は、県HPの記事をAI要約し、県公式Twitterにツイートするシステムの実証導入をはじめ、利用者ニーズを踏まえながらさらに内容を充実させ、より多くの方に見てもらえるよう努めて参ります。</p>	経営
10	若者が求める“徳島の情報”の発信【発信ツール・情報コンテンツ】	① 地元の店舗、施設、イベント等の「徳島のいま」の情報、お祭りなどの身近なイベント情報	<p>徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」において、県内各地のイベント情報や旬の観光情報を「イベントカレンダー」「旬の見どころ」としてタイムリーに情報提供しているところです。今後ともSNSとの連携強化、API連携（外部サイトの二次利用機能）等により、より一層充実した観光情報の発信に取り組んで参ります。</p>	商工

番号	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
11	若者が求める “徳島の情報” の発信 【発信ツール・ 情報コンテンツ】	② Youtubeでの「阿波踊りのさじき」や「踊り子側の視点」での動画配信	Y o u T u b eにおいてユニークな「阿波おどり」のオリジナル動画を配信するなど、阿波おどりの魅力を活用した効果的な情報発信に取り組んでおり、今後ともWEB、SNS等を活用した情報発信の強化に取り組んで参ります。	商工
12	若者が求める “徳島の情報” の発信 【発信ツール・ 情報コンテンツ】	③ 就職情報	就職情報については、本県の就職支援情報サイト「ジョブナビとくしま」において、県内企業情報や求人情報を提供しているほか、UIターン希望者に対しては、県内企業の魅力や採用動向、就職イベント等の情報をメールマガジンにより定期的に配信しております。 また、県外大学でのUターン相談会や保護者懇談会の機会を活用し、県内企業の就職情報を提供しているところです。 今後とも、県内外の学生が県内企業に就職し、活躍していただけるよう情報発信に努めて参ります。	商工